

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社



会社説明資料
(プライム:3916)

2024年2月18日

1

会社紹介

2

ビジネスのご紹介

3

中期目標・株主配当・2Q業績

会社概要

商号: デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
Digital Information Technologies Corporation

設立: 2002年1月4日

事業内容: 業務系システム開発、組込系システムの開発及び検証、システム運用サービス、自社開発ソフトウェア販売及びシステム販売事業

本社所在地: 東京都中央区八丁堀4-5-4 FORECAST桜橋5階

資本金: 453,156千円(2023年6月末)

決算期: 6月30日

従業員数 1,330名(単体1,139名) (2023年6月末)

役員: 代表取締役社長 市川 聡
他社内取締役 4名、社外取締役 4名
常勤監査役 1名、社外監査役 2名

グループ会社: DITマーケティングサービス株式会社
DIT America,LLC.
株式会社シンプルリズム



代表取締役社長 市川 聡

2004年3月 当社入社
2007年7月 執行役員経営企画本部経営企画部長
2010年7月 執行役員事業本部部長
2012年9月 取締役執行役員経営企画部長兼
商品企画開発部長
2015年7月 常務取締役事業本部部長
2016年7月 代表取締役専務執行役員
2018年7月 代表取締役社長

国内外の開発拠点と社員数



トピックス:函館にDX開発拠点を開設(ニアショア拠点強化)

- 2023年11月、函館にDXビジネスの研究開発を核とした開発拠点を開設
- 手薄だった北海道地域の対応力を強化し、地元人材の採用で地方の雇用創出にも挑戦

DIT拠点MAP



New ! 函館新拠点



DXビジネス研究室函館分室

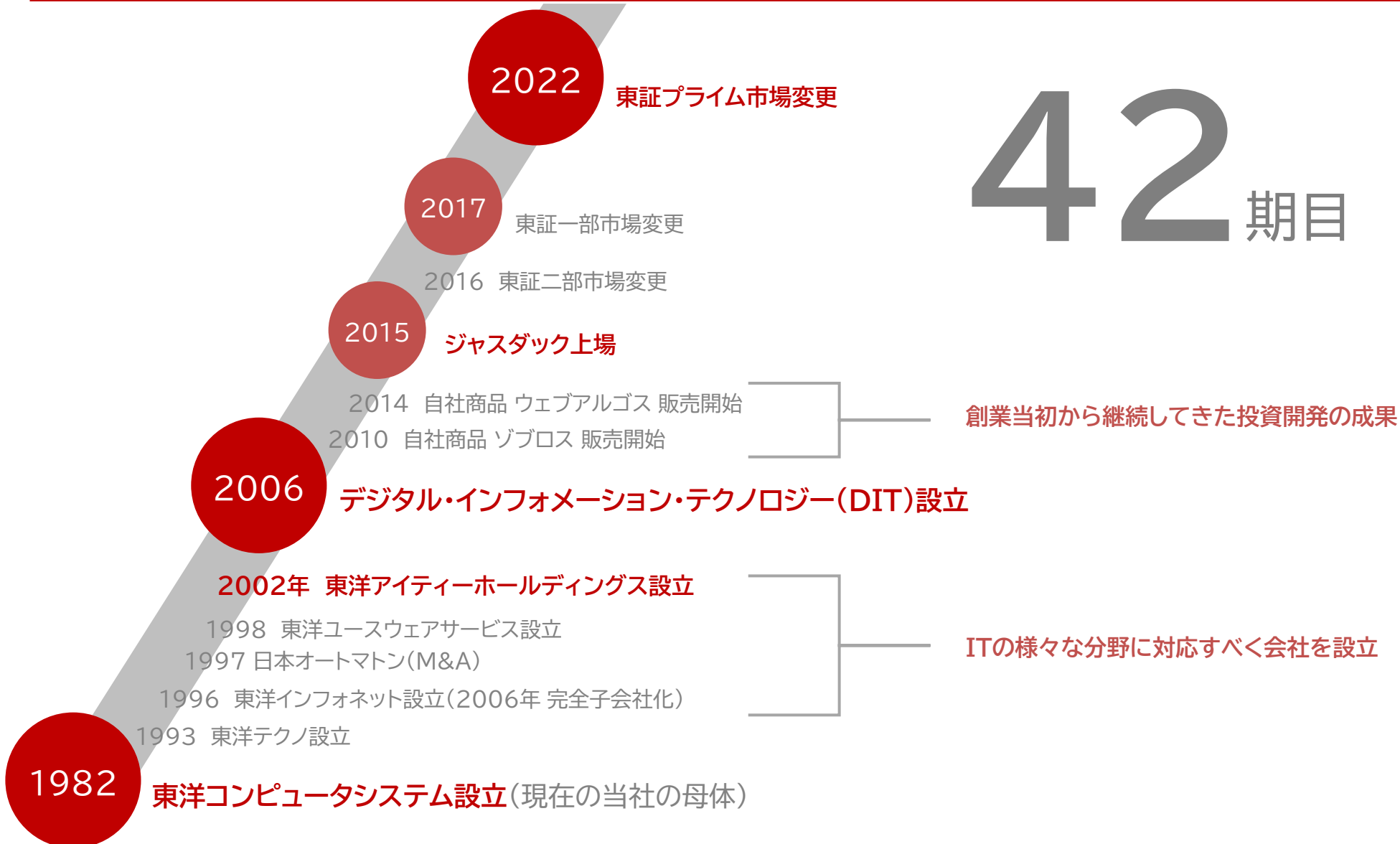
場所：函館市桔梗町379-32

設立：2023年11月1日

採用：地元の人材雇用を念頭に、1期目で3名以上、将来的に60名以上の雇用を目標

沿革

42 期目



事業基盤

7つの会社による カンパニー制

- 金融、EC、組込みなど、各業務分野別に7つの会社に分かれた経営
- 経営者が社内に複数存在
- それぞれの強みを尖らせる
- 独立採算・小規模経営による迅速な経営判断

成長要素

積極的な開発投資による 自社商品

- 企業規模が小さかった創業当時から変わらない積極的な開発投資の精神
- 以下の商品ラインアップを所有
 - ✓ WebARGUS(ウェブアルゴス)
 - ✓ xoBlos(ゾブロス)
 - ✓ DD-CONNECT(ディーディーコネクト)
 - ✓ shieldcms(シールドシーアイエス)

当社が大事にしている考え方

変化対応力

～ 常に変化する世の中・社会に対し、失敗を恐れずにチャレンジする ～



数字で見るDIT(2023年6月期)

売上高

181億円

(前期比+12.3%)

営業利益

20億円

(前期比+1.8%)

営業利益率

11.2%

(前期比△1.2pt)



ROE

25.1%

(Yahooファイナンスでのランキング
全3,895銘柄中252位)

配当性向

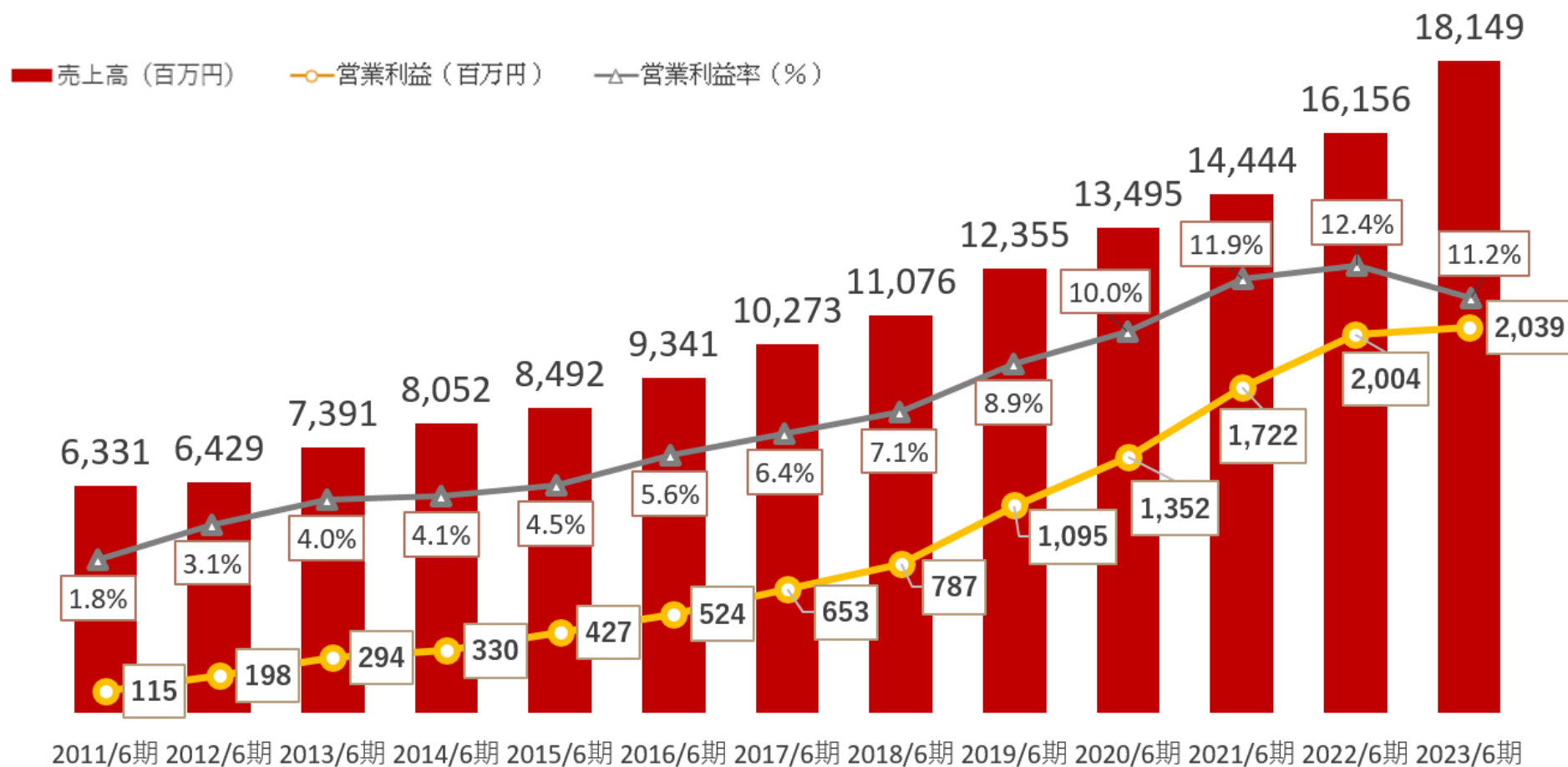
40%以上

(中期経営計画での目標)

銘柄

JPX日経
中小型株価指数
200構成銘柄

13期連続、増収・増益



事業セグメントと売上構成

事業セグメント	分類	2021/6期 売上高 構成比	2022/6期 売上高 構成比	2023/6期 売上高 構成比	内訳 (%)	業務概要
ソフトウェア開発事業		95.8%	96.3%	96.2%		ソフトウェア 開発事業
ビジネス ソリューション事業	事業 基盤	59.6%	59.1%	57.0%	55.3%	業務システム 開発事業
					44.7%	運用サポート 事業
エンベデッド ソリューション事業	事業 基盤	31.3%	32.0%	34.5%	73.4%	組込みシステム 開発事業
					26.6%	組込みシステム 検証事業
自社商品事業	成長 分野	4.9%	5.2%	4.7%		自社商品事業
システム販売事業	事業 基盤	4.2%	3.7%	3.8%		システム販売事業

口頭でご説明申し上げます

1

会社紹介

2

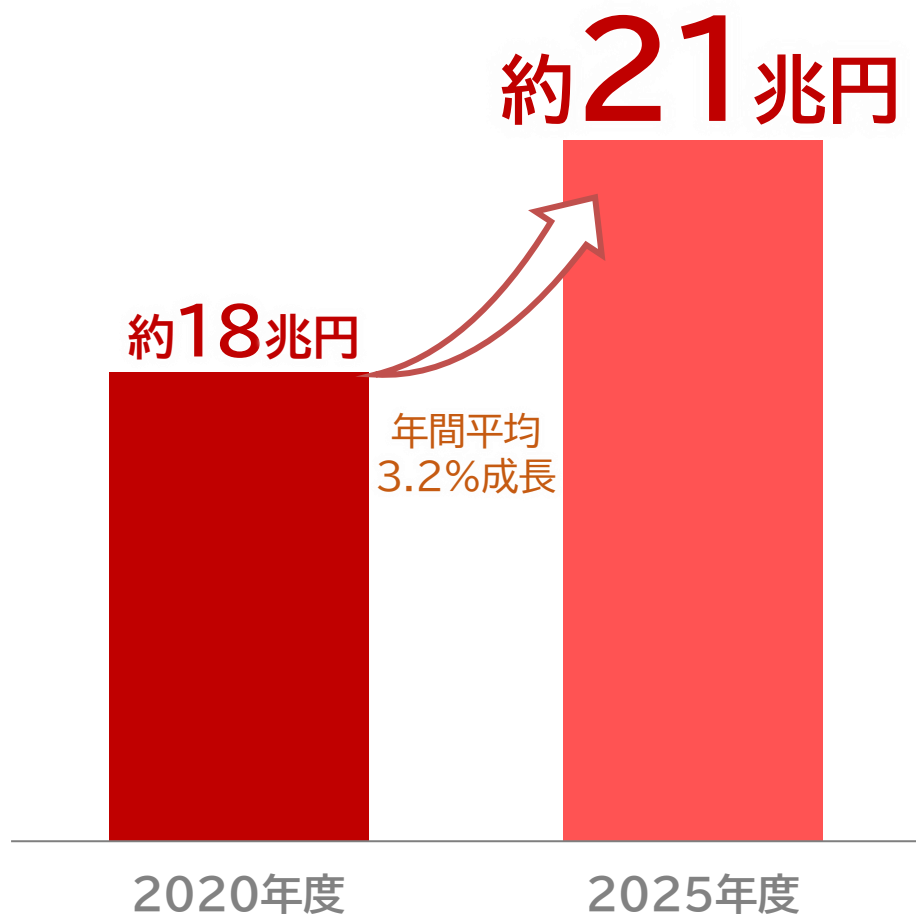
ビジネスのご紹介

3

中期目標・株主配当・2Q業績

国内IT市場全体見通し

国内IT市場支出額予測



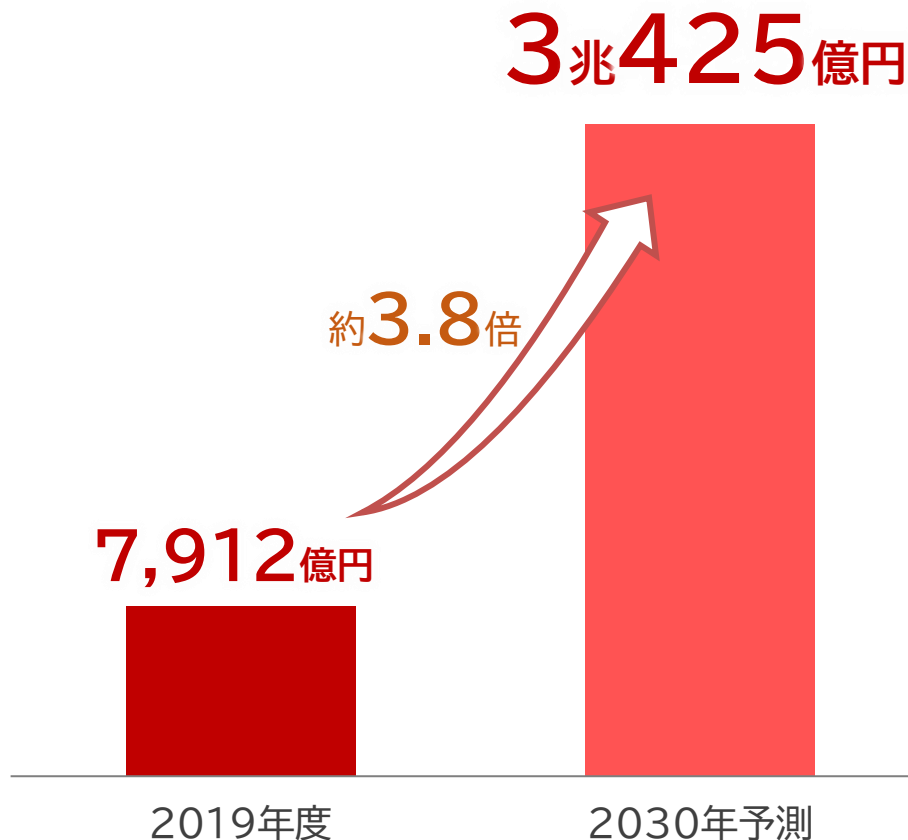
国内IT市場
2025年
21兆円市場へ

DX(デジタルトランスフォーメーション)の急速な進展や、コロナ禍に伴うテレワーク需要などにより、右肩上がりの成長の見込み

出典: IDC Japan, 1/7/2022

DX(デジタルトランスフォーメーション)市場見通し

DXの国内市場(投資金額)



国内DX市場

2030年
3兆円市場へ

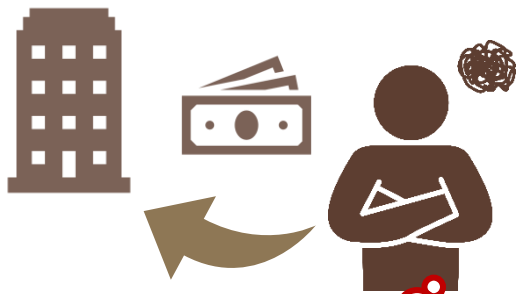
デジタル技術の進展やコロナ禍に伴うリモート環境の整備等により、全産業に亘りデジタル化が加速

出典:富士キメラ総研の資料より当社作成

ビジネスソリューション事業 業務システム開発事業とは何か？

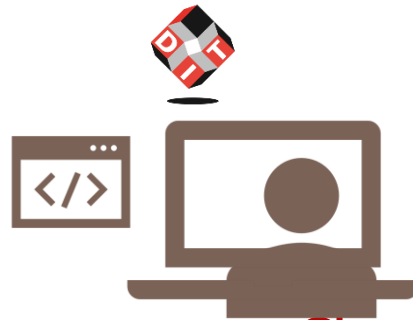
開発実績例-オンライン入出金プログラムの開発

お客様のデジタル領域の
課題・希望を…



直接ATMに振り込み
に行くと時間がかか
るから、パソコンや
スマートフォン
から送金したい、…

当社がプログラム開発で
自動化、省力化し…



当社がパソコンや
スマートフォンから
送金できる仕組み
を開発

課題を解決！
社会の利便性向上にも貢献

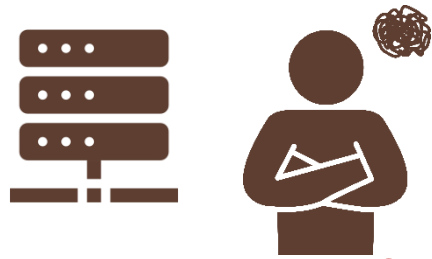


面倒な振込み作業
が減って生産性と
効率性がUPし
た！

ビジネスソリューション事業 運用サポート事業とは何か？

運用サポート事業-システム基盤設計・構築等、お客様の身の回りのITのお困りごとを解決

新しいシステムを導入した
お客様に対して…



新しいシステムを導入
したけど使い方が良
く分からない、…

当社がプロとして使い方を教
えたり、実際に動かし…



当社のサポートデスク
が使い方をお教えし
ます。
実際にシステムを
動かすことも

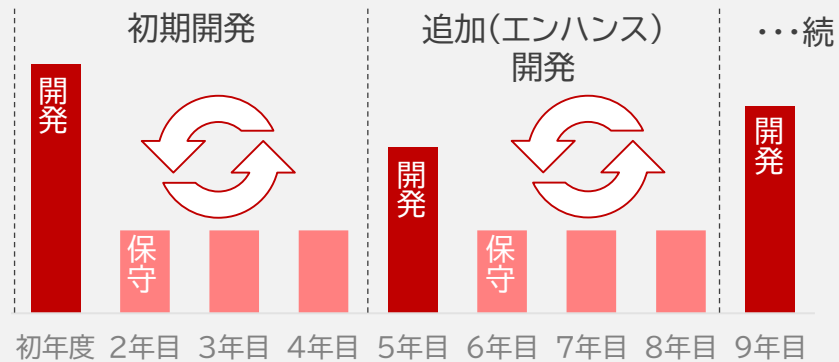
システムの運用をお手伝い
顧客の省人化・効率化に貢献



サポートがあるから安
心して本業に集中で
きる！

金融開発・運用サポートにおける安定性

開発と保守のサイクルが長期にわたり継続



ビジネス ソリューション事業

様々な業種に対応できる安定性

一度携わった案件が、開発→運用→機能強化開発、…へと続く安定性

多種多様な開発・運用領域



勘定系



ECサイト



旅行ツアー予約



サポートセンター運用



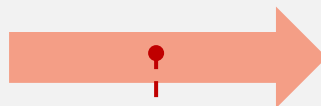
クラウドサーバー

今後の成長へのポイント

- ✓ 金融システム(エンハンス)開発
- ✓ 運用サービスの事業拡大
- ✓ ワンストップ提案強化
- ✓ エンドユーザ比率増加

組込みシステム開発・検証事業とは、
機械や装置などに**組込まれて**特定の機能を実現する
ソフトウェアの開発、及び検証を行う事業

デジタルカメラで例えると…

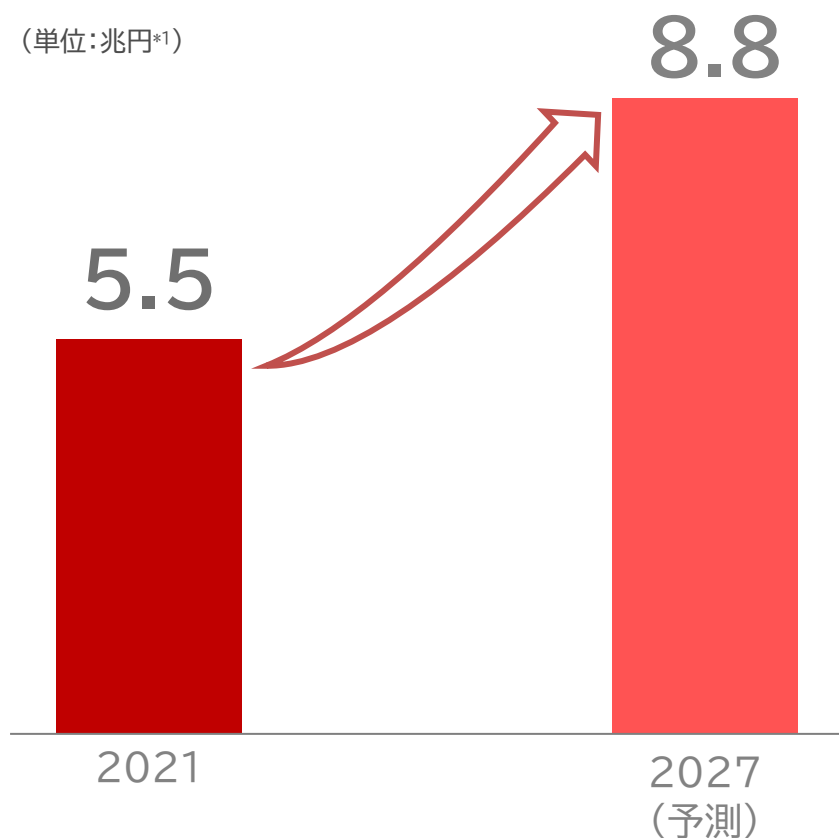


この過程で必要となる（ピントを合わせる・写真を撮る）
プログラムを当社が開発し、正常に動作するかを検証

組み込み(エンベデッド)市場見通し

組み込み型コンピューター市場推移

(単位:兆円*1)



世界の
組み込み型コンピューター市場
**2027年
8兆円超の市場²へ**

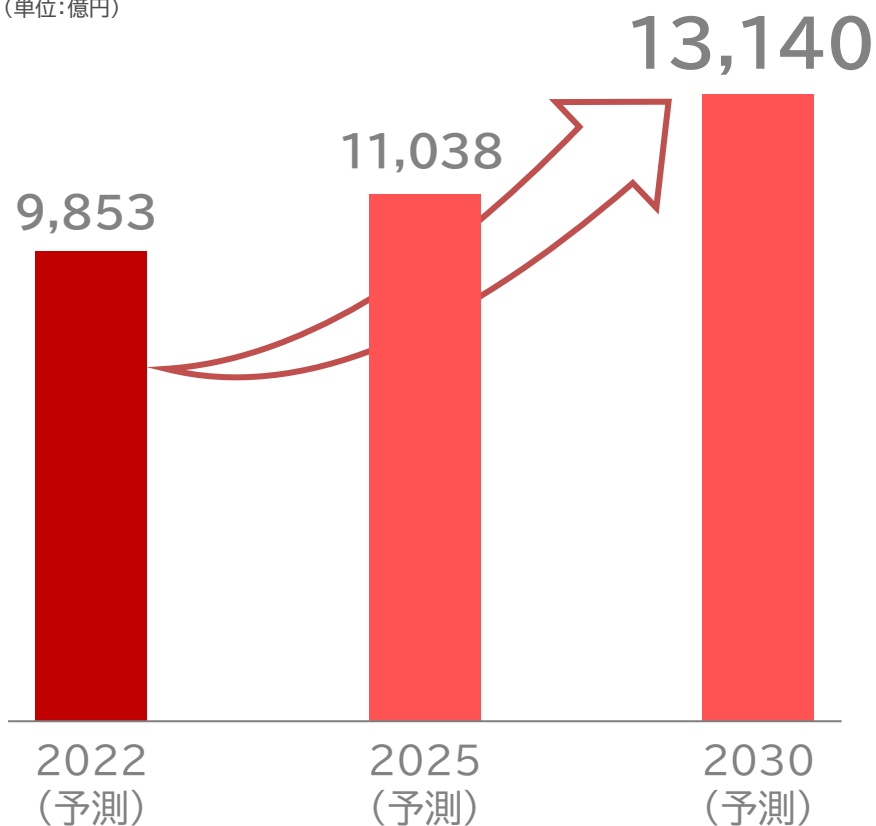
AIやIoTを活用したデジタル化社会の到来により
組み込み市場の需要は旺盛、
世界の市場規模は2021年の394億米ドルから
2027年には634億米ドルまで成長との見込み
(2022~2027の年間平均成長率は約+8.4%)

出典:2022年1月20日株式会社グローバルインフォメーションのプレスリリース、「組み込みコンピューター市場、2021年から2026年の間に約7%のCAGRで成長見込み」より当社にて資料作成

国内での組込み分野の車載ソフトウェア市場の見通し

車載ソフトウェア市場推移

(単位:億円)



車載ソフトウェア市場
**2030年
1.3兆円市場へ**

自動運転やコネクテッドカーといったCASE分野への投資は旺盛、
2025年には1.1兆円、
2030年には1.3兆円の市場へと成長の見込み
(2022~2030の年間平均成長率は約+3.7%)

出典:2020年10月29日株式会社矢野経済研究所プレスリリース、「車載ソフトウェア市場に関する調査を実施(2020年)」より当社にて資料作成

当社による車載システムの開発例



区分	システム
ボディ	• ドアミラー制御、メーター制御
パワートレイン	• ハイブリッドシステム • モーター制御、変則制御
車両	• ステアリング制御
運転補助	• 自動運転 • カメラ、センサー制御
インフォテインメント	• ナビゲーション、オーディオ
車載情報通信	• 車載通信モジュール(コネクテッドカー)

エンベデッド ソリューション事業

成長分野へ注力

これからの時代の成長分野である
車載分野での開発に注力

今後の成長へのポイント

- 車載(半導体含む)比率70%弱
- 車載関連の広がりに合わせ、検証の需要も拡大
- 完成車メーカー、Tier1との取引中心
- 成長が見込まれる自動運転・コネクテッドカー関連の取引が拡大
- IoT関連案件の広がり

国内大手自動車メーカーとの多くに開発実績をもとに、 5年で倍の成長が見込まれる*1コネクテッドカー分野へ注力中

コネクテッドカー時代の到来により、..



コネクテッドカーとは？

ICT端末としての機能を有する自動車のこと。
車両の状態や周囲の道路状況などさまざまなデータを
センサーにより取得し、ネットワークを介して集積・分析
することで、さまざまな価値を生み出す
「つながるクルマ」を指す。

多様な開発ニーズが生まれる

セキュリティ確保への対応

情報インフラの整備

関連システムへの対応

高度化する通信技術への対応

**2025年、コネクテッドカー市場は
2兆円市場へ成長の予測*2**

IoTを活用したサービスの開発事例

AIスピーカーによるガス機器音声操作機能

音声での命令により床暖房のON/OFFやお風呂の湯はりを行うプログラムを当社が実装



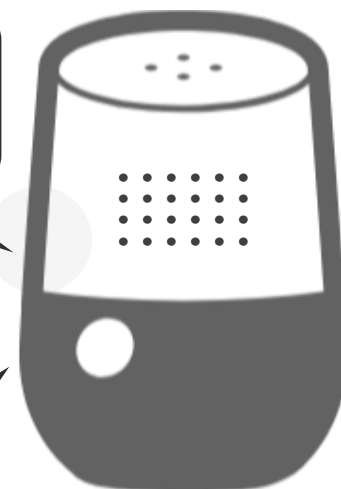
ユーザー

〇〇、ガスリモコンでお風呂を沸かして！

いいよ、お願い！

設定温度〇〇℃でお風呂の湯はりを開始してもよろしいですか？

湯はりをします。湯ぶねの栓を確認してください



AIスピーカー

自社商品事業:取り扱う製品・商品ラインアップ

ウェブアルゴスとゾブロスが当社の主力商品
DXや働き方改革といったデジタル社会の潮流にマッチした商品群を展開

主力となる2つの製品

ウェブアルゴス



- ・2014年リリースのセキュリティ製品
- ・サイバー攻撃により改ざんされたウェブページを0.1秒未満で検知・復旧
- ・競合の多い「サイバー攻撃を未然に防ぐ」領域ではなく、「攻撃を受けた後に検知・復旧する」領域に特化

ゾブロス



- ・2010年リリースの業務効率化製品
- ・Excel®による煩雑な集計作業を自動化、作業効率を飛躍的に向上
- ・DXや働き方改革によりニーズが上昇、累計導入社数は560社超

DD-CONNECT



- ・2020年リリースの電子契約アウトソーシングサービス
- ・日鉄ソリューションズ(株)の電子契約サービスCONTRACTHUBを利用したアウトソーシングサービス
- ・導入から運用までを当社および協力会社の大興電子がサポートすることで、付加価値を提供

Shield-cms



- ・2021年リリースのクラウド型高セキュリティCMSサービス
- ・CMS機能にウェブアルゴスのウェブページの検知・復旧機能を組み合わせ、高セキュリティな独自のCMSサービスを提供
- ・SaaS系、オープンソース系といったサイバー攻撃に狙われやすい事業会社をターゲットに展開

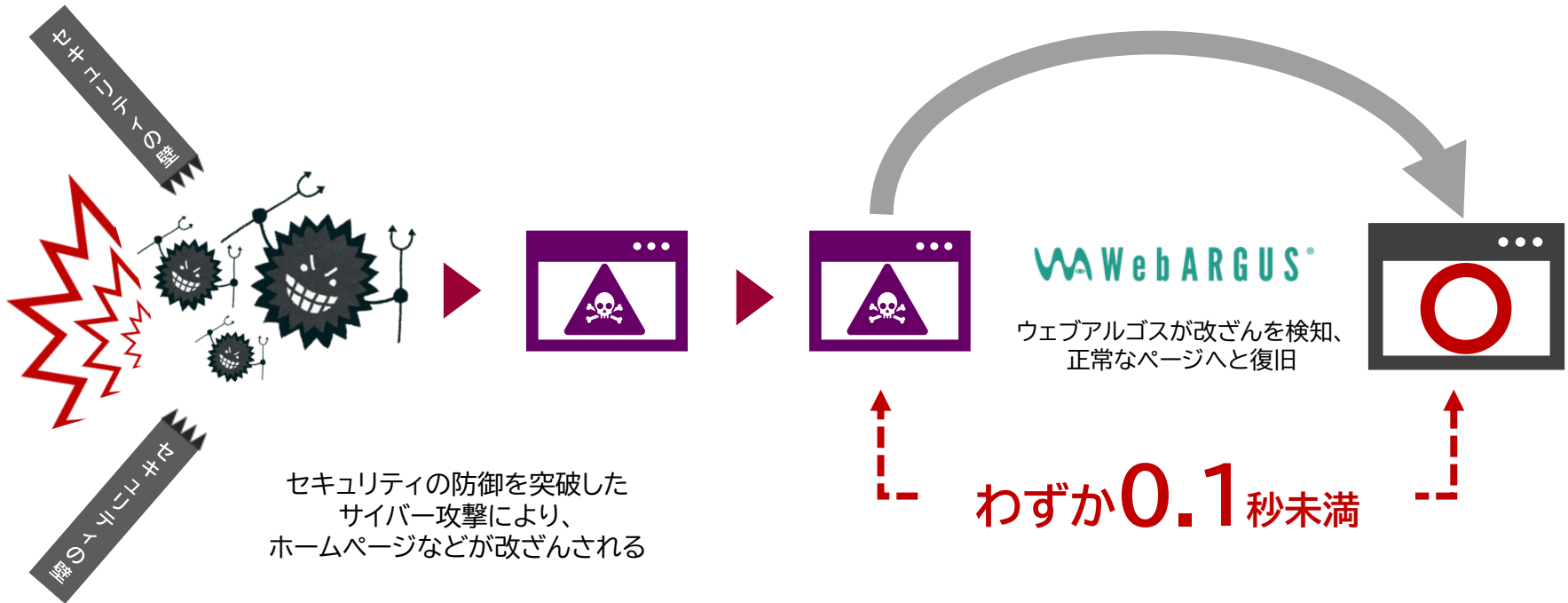
主力自社商品:WebARGUS(ウェブアルゴス)

Web ARGUS®

ウェブアルゴスは改ざん発生の検知・復旧に特化したサブスクリプションモデルのセキュリティソフト。改ざんの検知から復旧までを僅か0.1秒未満で対応

セキュリティの防御を破ったサイバー攻撃により、
サイト情報が誤情報に改ざんされても、

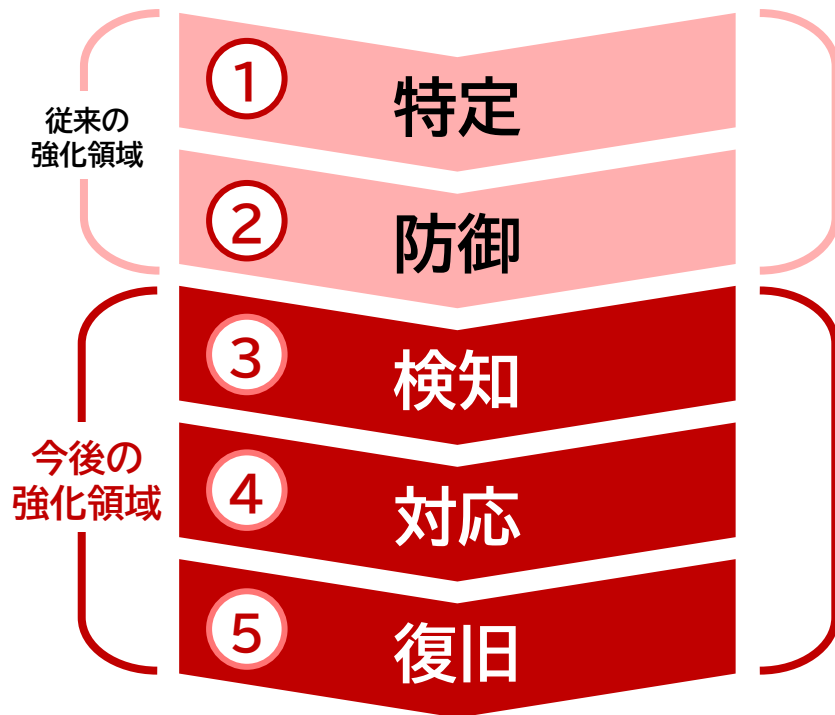
ウェブアルゴスは改ざんを瞬時に検知し、元の正しい状態へと復旧。その間わずか0.1秒未満



ウェブアルゴス：国策主導のセキュリティ対策が加速

日本政府はサイバーセキュリティのガイドラインを改訂、巧妙化するサイバー攻撃に対し、防御だけでなく「検知・復旧」も重要な領域であると追加。今後の企業の対策強化が見込まれる

サイバー攻撃対応の5大フェーズ



対応領域の特徴・動き



攻撃を防ぐ段階

- ・従来より重要視されていた領域。未然に防ぐことは重要だが、全てのサイバー攻撃には対応しきれない
- ・従来の注力領域のため、多くの製品が入り乱れる




攻撃の被害から復旧する段階

- ・サイバー攻撃を受けた後、被害状況を把握し、迅速に本来の状態へと復旧させる段階
- ・日本政府はサイバーセキュリティ・ガイドライン*において、本領域の対応が不十分とし、新たに対策項目として追加
- ・新たな強化領域であり、**防御段階に比べ、競争環境は激しくない**

動画視聴



WebARGUS(ウェブアルゴス)

ウェブ改ざん 瞬間検知・瞬間復旧 ソフトウェア

 実況! ネット世界のサイバー攻撃

強力なサイバー攻撃を
0.1秒未満で検知・復旧

サイバー攻撃は防げない前提で
0.1秒未満でコンピューターを元に戻す



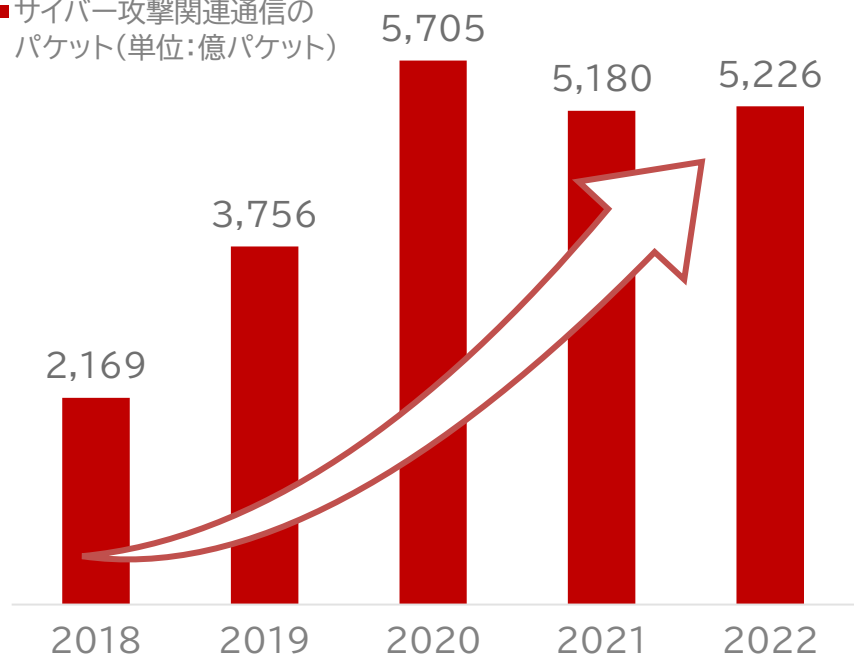
実況！ネット世界のサイバー攻撃

ウェブアルゴス:高まるサイバー攻撃の脅威

デジタル社会、テレワークといった社会変容にあわせ、サイバー攻撃も増加
攻撃の種類も多様化し、全ての攻撃を防ぎきるのは困難な時代に

増加するサイバー攻撃*1

■サイバー攻撃関連通信の
パケット(単位:億パケット)



情報セキュリティの10大脅威*2

- 1位 ランサムウェアによる被害
- 2位 標的型攻撃による機密情報の窃取
- 3位 サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
- 4位 テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃
- 5位 内部不正による情報漏えい
- 6位 脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加
- 7位 修正プログラムの公開前を狙う攻撃 (ゼロデイ攻撃)
- 8位 ビジネスメール詐欺による金銭被害
- 9位 予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
- 10位 不注意による情報漏えい等の被害

ウェブアルゴス:ランサムウェア対応版をリリース

- セキュリティ製品「ウェブアルゴス」のランサムウェア対応版をリリース
- サイバー空間の深刻な脅威となっているランサムウェアに対応し、持続的な社会経済活動に寄与
- データ保護機能を強化し製品価値を向上。既存顧客はアップセルでの販売、新規顧客は対応領域の拡充により、新たな顧客層の獲得を図る

製品の対応領域が拡大

Web ARGUS®

検知機能

復旧機能

+

データ保護機能

機能拡充

Web ARGUS® for Ransomware

検知

復旧

データ保護

特長・販売戦略

- ✓ データの検知・復旧のみだった従来のウェブアルゴスに、**データ保護(プロテクション)機能を搭載し、製品価値が向上**
- ✓ 競合の多い定期監視型とは発想の異なるリアルタイム監視により、**高い復旧力とシステム負荷の軽減を両立**
- ✓ 販売目標は**2024年6月までに累計ライセンス金額1.5億円**。既存顧客へのアップセルを図るとともに、新たな顧客層の獲得へもつなげる

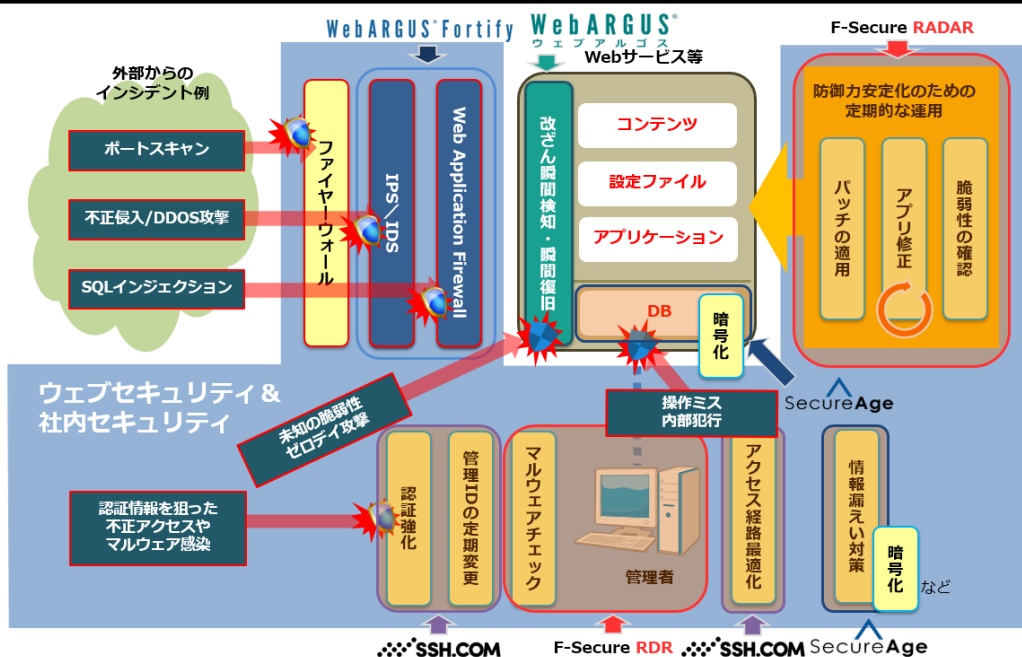
WebARGUSを中心にセキュリティ分野に拡大

WebARGUS中心とした

販路拡大(代理店販売)とDITセキュリティの提供

自社商品を中心とした展開

[DITが提供するトータルセキュリティ]



Point

- ISP企業と協業し、SaaSサービスとして展開開始
 - トータルセキュリティとして幅広いお客様のセキュリティニーズに対応
- ①エフセキュア社と脆弱性診断で協業(2018年6月)、更にエンドポイントでも関係を強化(2019年6月)
 - ②セキュアエイジ社と情報漏えい対策で協業(2019年12月)
 - ③SSH社と認証・アクセス制御で協業(2020年1月)

※エフセキュア社、SSH社はフィンランドの企業
セキュアエイジ社はシンガポールの企業

Copyright © 2019, Digital Information Technologies Corp. All rights reserved

主力自社商品:業務効率化プラットフォームxOBlos(ゾブロス)



ゾブロスはExcel®業務を自動化・効率化するプラットフォームERP・RPA製品等とのシステム間連携に最適な業務効率化製品

製品の機能・特長

データの変換



出力形式に合わせてデータを自由に変換

データの統合



大量のデータを統合し、自由に出力

- ✓ 大手企業を中心に、累計導入は**580社**超
- ✓ 複雑なプログラムは不要(**ノーコード**)で、初心者でも扱いやすい操作性
- ✓ 高い応用性により他のRPA製品との連携も可能

複雑なデータ処理業務を大幅に効率化!

請求書作成の残業時間

200時間が ▶ **0**時間に!

予実管理及び報告書データの作成

2~4日が ▶ **30**分に!

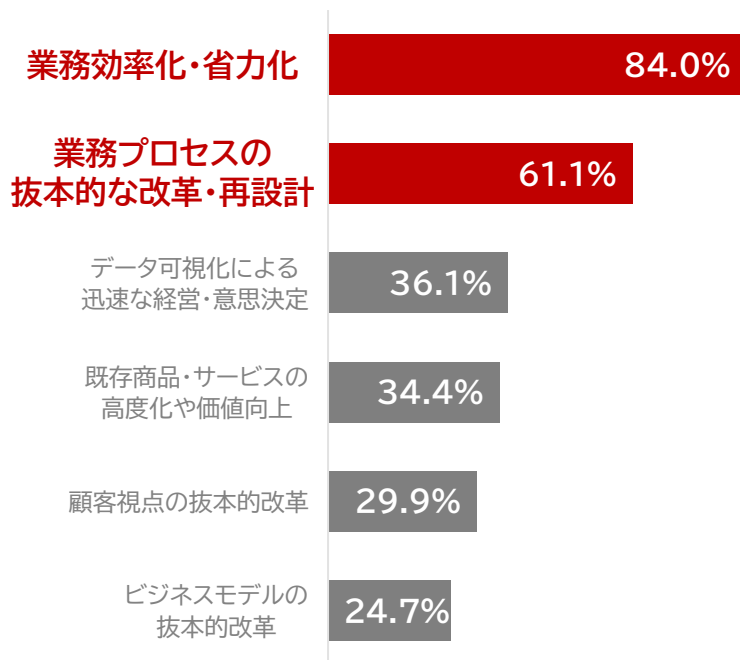
勤怠管理や入退室のデータチェック

1~2日が ▶ **20**分に!

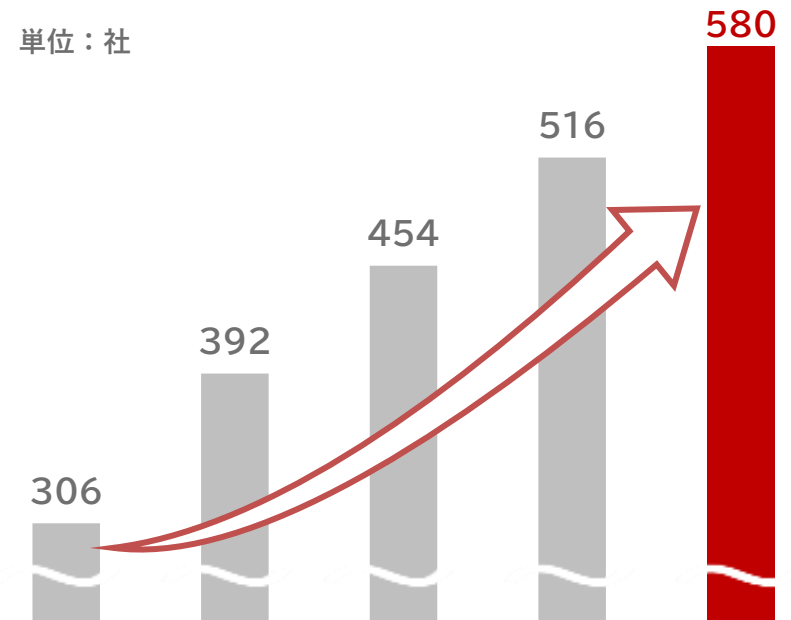
自社商品:ゾブロス は現代のビジネストレンドにマッチ

企業のDXへの取組みにおいても業務効率化のニーズは高く、働き方改革・DXの進展に伴い、ゾブロスの導入社数も堅調に増加中

国内の大・中堅企業におけるDXの取組み状況*



ゾブロスの累計導入社数



自社商品事業 DD-CONNECT

DXの進展とニューノーマル社会への対応に向け、電子契約のアウトソーシングサービス「DD-CONNECT(ディ・ディ・コネクト)」を提供

Point

- ・ ハンコ不要
- ・ 収入印紙不要
- ・ 導入から運用・運営まで一括で支援

DD-CONNECT



ホームページの「安全性」と「作成の機動性」を兼ね備えた ホームページ作成プラットフォーム

Point

- ・ Web改ざんを瞬間検知・瞬間復旧
- ・ 「みたまま編集」機能
- ・ 「HTML直接編集」機能

shield cms

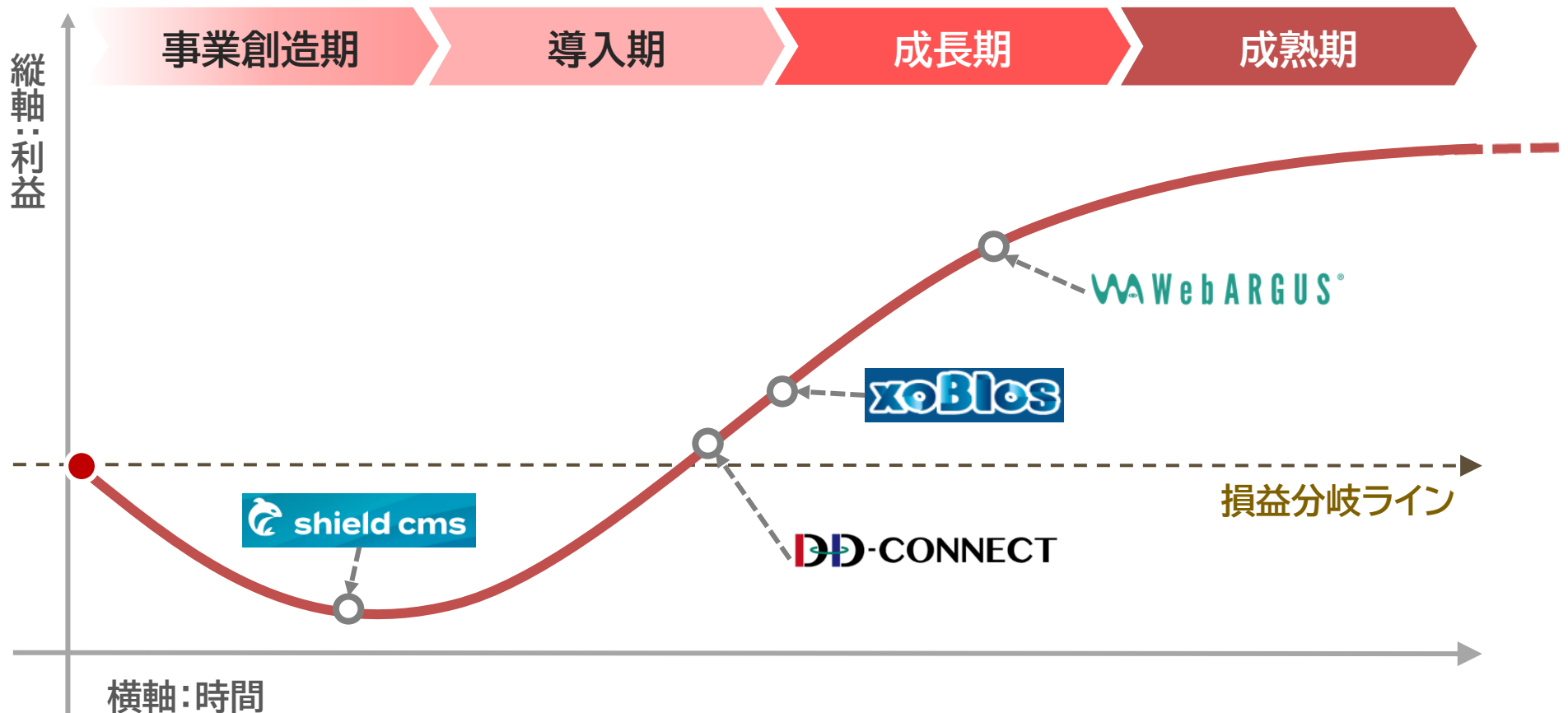
改ざんを発生と同時に検知して0.1秒未満で自動復旧可能な唯一の改ざん対策ソフト「WebARGUS」を搭載。改ざんの実害をゼロにすることができます。また、豊富なデザインパーツや操作しやすいデザインエディタで初心者でも簡単に操作が可能。HTMLの入力やcss、javascriptの追加も可能なので、オリジナルデザインを作成したい上級者にもおすすめです。

← わずか0.1秒以内で改ざんを復旧！ どこよりもセキュア！ →



自社商品事業は将来の収益ドライバー

自社商品は商品ごとに成長フェーズが異なり、開発投資期のものも存在
成長路線へ移行すれば、将来的に利益への大きな貢献が見込める



システム販売事業

楽一(らくいち) 中小企業の経営支援基幹システム

契約社数

2,200社

代理店19年連続No.1

あ ぐ い ち
楽一

楽一がたどり着いた新たな答え
経営者を支え、経営に専念できる環境作りをご支援します。

売上集計管理サービス
SALES TOTAL MANAGEMENT SERVICE
CXDNEXT

お店の売上を「素早く」「正しく」「簡単」に管理。
「商売繁盛」を応援します!

ネットレジ
24時間365日の電話サポート付き

オーダーエントリーシステム
Easy Booklet
業界初*簡単操作の
ブックレット型ハンディターミナル採用

ブックレット型ハンディターミナル GP-R10
コントロールボックス GP-F10CB
キッチン用プリンター GP-400A

*2010年5月現在、飲食店向けオーダーエントリーシステムとして、当社提供。

Point

- 中小企業向け経営支援基幹システム
- リピート率80%

1

会社紹介

2

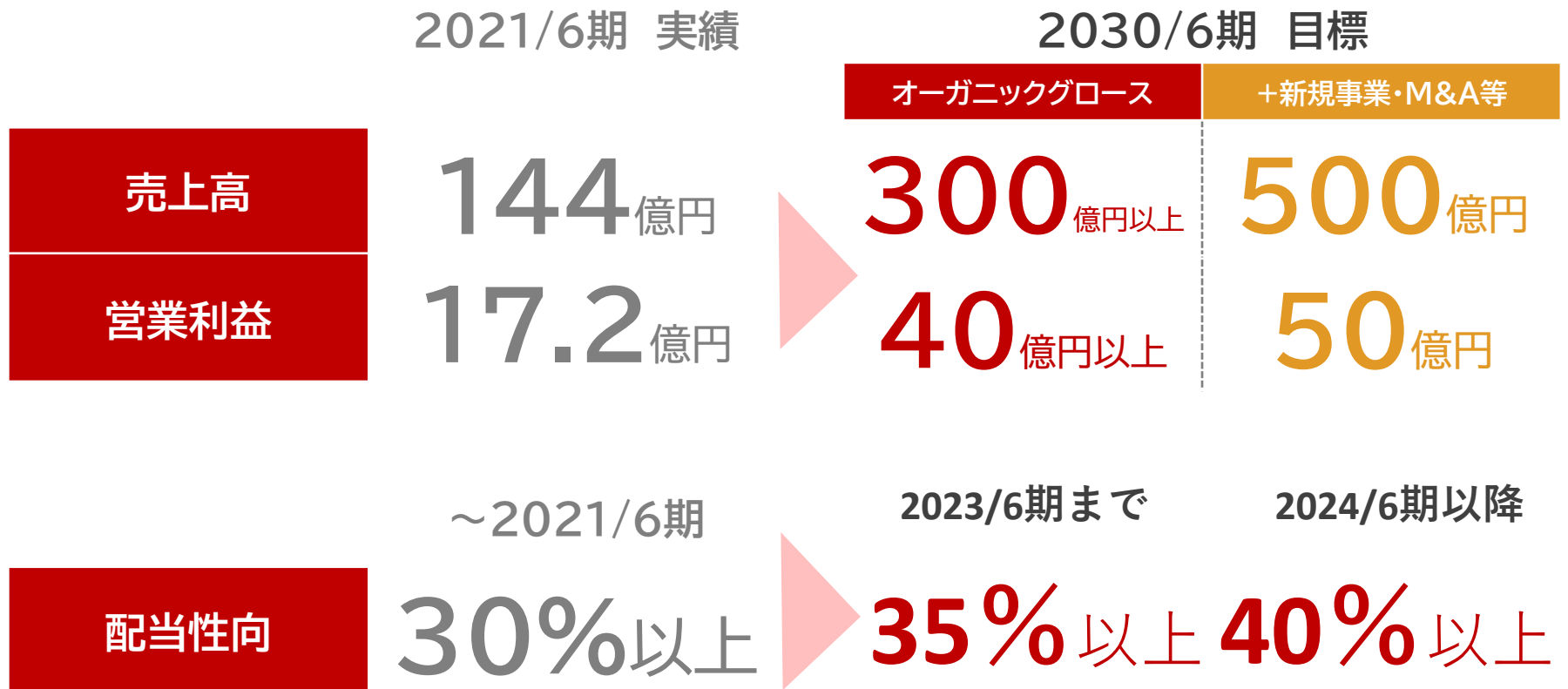
ビジネスのご紹介

3

中期目標・株主配当・2Q業績

経営目標

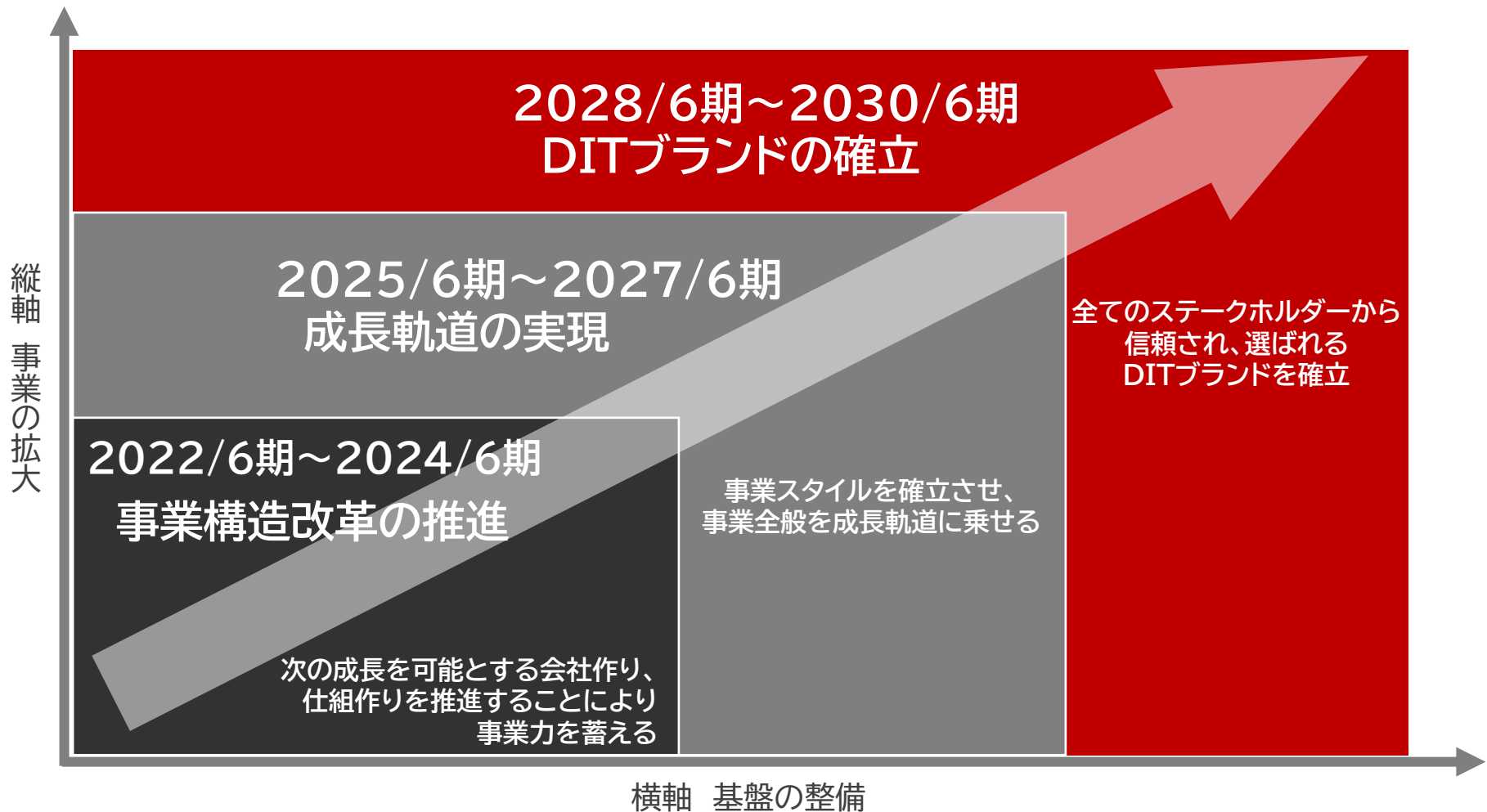
売上高500億円への挑戦！ <チャレンジ500>



2030年ビジョンの実現ステップ



DIT 2030 Vision



縦軸
事業の
拡大

横軸 基盤の整備

全てのステークホルダーから
信頼され、選ばれる
DITブランドを確立

事業スタイルを確立させ、
事業全般を成長軌道に乗せる

次の成長を可能とする会社作り、
仕組作りを推進することにより
事業力を蓄える

M & A(中期経営計画の具現化)

ITソリューションサービスを手掛ける(株)シンプリズムを子会社化
ITエンジニア人員の強化により、増加する案件の更なる獲得を図る



シンプリズム社概要

創業	2011年4月
従業員	85名(うちエンジニア:80名超)
事業内容	ITシステムの運用保守サービス等
直近業績	売上高:5.3億円、営業利益:0.1億円

- ✓ システム運用保守サービスを強みに事業を展開する同社のグループ入りにより、当社の運用サポート事業を強化
- ✓ **運用サポート事業の強化により、当社の「運用保守から案件を獲得し、収益性の高い開発案件へつなげていく」独自のビジネスモデルの更なる展開が可能に**
- ✓ 中期経営計画「チャレンジ500」達成へ向け、今後も積極的なM&Aを検討

トピックス:M&A2件を2月14日に発表

- 「DIT2030ビジョン」実現へ向けた更なる成長のため、2件のM&Aを発表
- システム・プロダクト社は当社の強みである金融業界の開発力や、ニーズが増加するSalesforce関連の技術・ノウハウを有しているソフトウェア開発企業



システム・プロダクト(株) 概要

設立：1979年4月

代表：代表取締役社長 福田 幸二

従業員数：61名（役員及び契約社員含）

主な業務：金融系を中心としたコンピュータシステム及びソフトウェアの企画、開発・販売・保守等

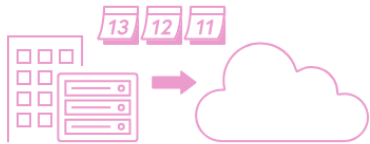
直近業績：売上高6.3億円、営業利益0.3億円、
純資産4.6億円（全て2023/3期）

システム・プロダクト社の業績については
来期(2024年7月から) より**ビジネスソリューション事業**に含めて計上予定

トピックス:M&A2件を2月14日に発表

- ジャングル社はソフト製品販売において強力な販売力を有し、当社自社商品事業とのシナジー創出にも期待
- 富士ソフト株式会社が開発・販売する年賀状やハガキ作成ソフト「筆ぐるめ」を主にBtoC向けに販売
- BtoB向けの商材として、独占販売権を有するクラウドマイグレーションツール「Data Migration Box」、自社で著作権を有するUSBメモリ型のデータ消去ソフト「DiskDeleter」及びGOLD Resellerとして販売しているPDFファイルを自由に編集できる多機能型PDF統合ソフト「PDF-Xchange Editor」が成長を牽引

Jungle

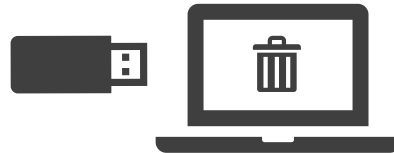


Data Migration Box

(独占販売権)

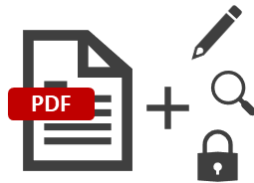


筆ぐるめ



DiskDeleter®

(著作権所持)



PDF-Xchange Editor

(GOLD Reseller)

(株)ジャングル 概要

設立：1999年9月

代表：代表取締役 高田晃子

従業員数：19名（役員及び契約社員含）

主な業務：BtoC、BtoBモデルでのソフトウェア及びサービスの企画、開発、販売

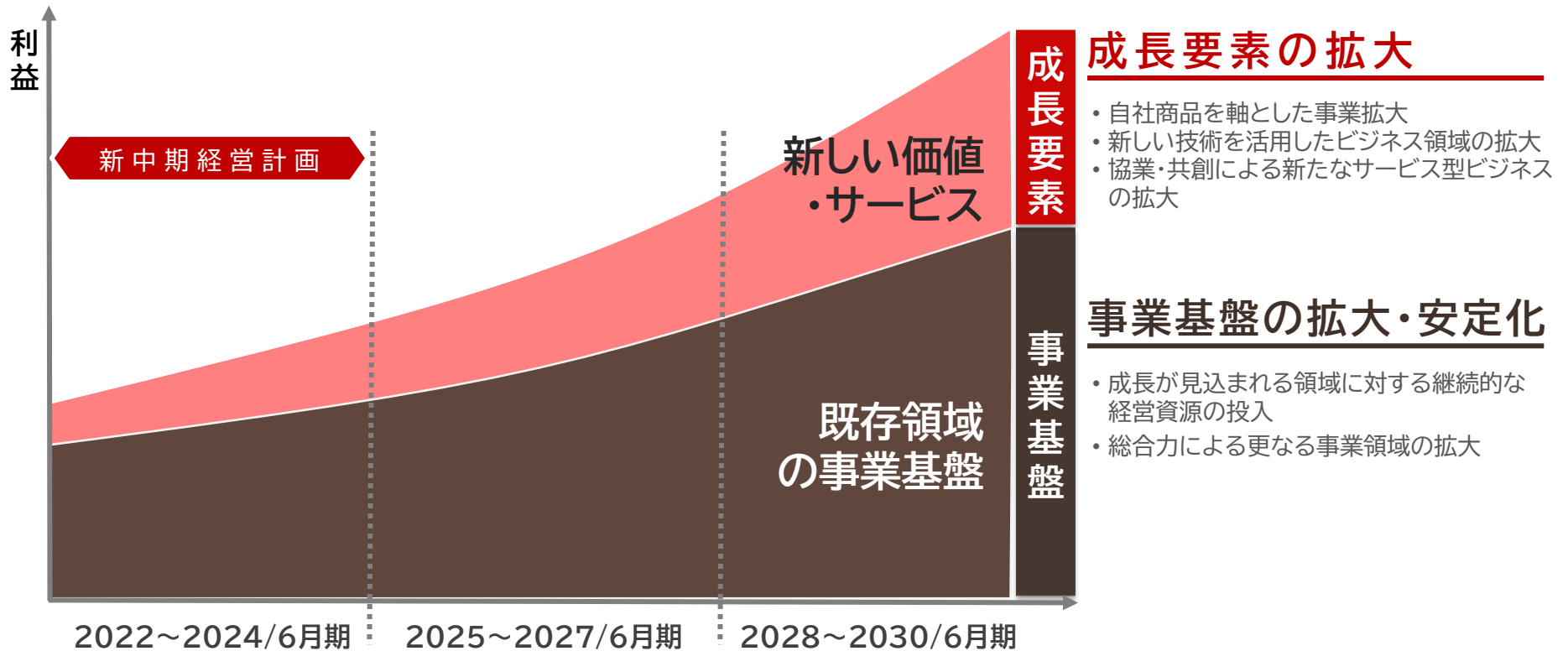
直近業績：売上高6.9億円、営業利益1.0億円、
純資産1.6億円（全て2023/6期）

ジャングル社の業績については2024/6期4Q
(2024年4月から)より自社商品事業に含めて
計上予定

中長期成長モデル

■これまでの成長を支えてきた「二軸の事業推進」をより強化し、
事業基盤の更なる拡大と新しい価値・サービスの提供を推進していく

- | | | |
|---|------|----------------------------|
| 1 | 事業基盤 | …幅広い事業領域の安定的な取引を強みに更なる基盤拡大 |
| 2 | 成長要素 | …社会変化に対応した新しい価値・サービスの提供 |

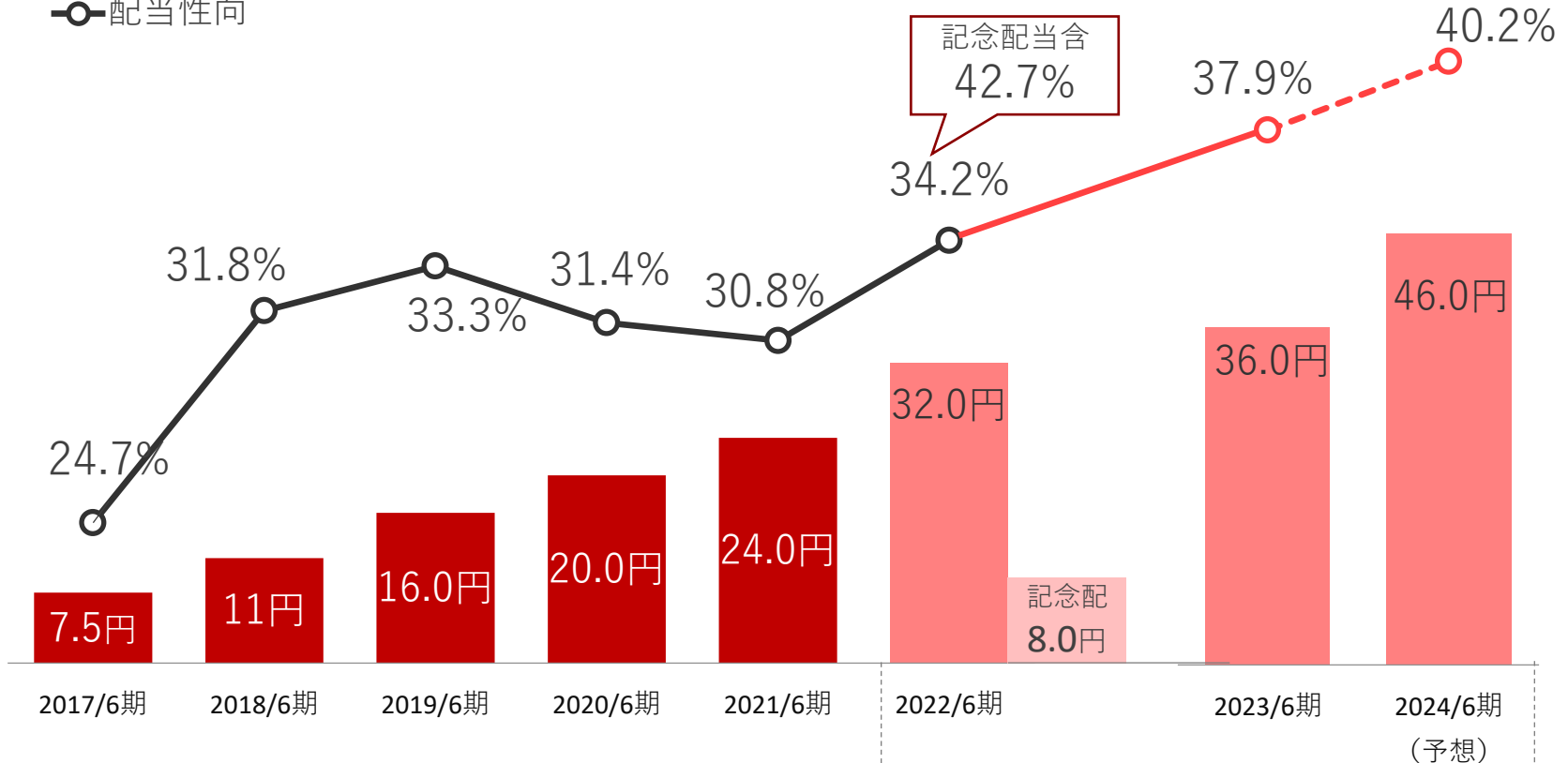


中期経営計画の経営目標(配当性向)

- 配当性向35%以上の目標を24/6期から40%以上に変更
- 24/6期の配当性向は40.2%の予想

■ 普通配当 (円)

○ 配当性向



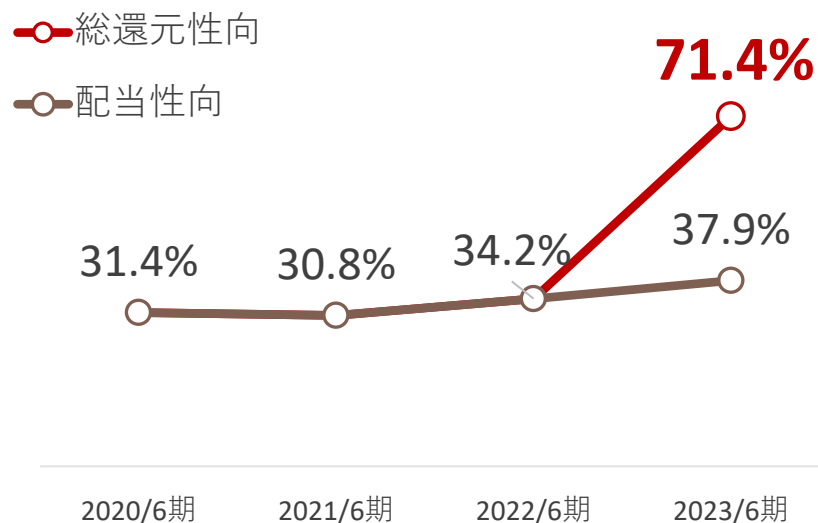
・ 配当性向 = 配当支払総額 ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益

新 中 期 経 営 計 画

株主還元(自己株式取得の実施)

- 株主還元の強化を目的とし、3月、5月に2回の自己株式の取得を実施
- 23/6期の総還元性向*は71.4%

総還元性向の推移



*総還元性向は以下の式で算出
(自社株買い総額+配当支払い額)÷親会社に帰属する当期純利益

今期の自己株式取得詳細

第1回 (取得完了)

取得日	2023年3月14日
形式	ToSTNET-3**による買い付け
取得株数	100千株
取得価額	1.65億円

第2回 (取得完了)

取得期間	2023年5月16日～同年7月31日
形式	市場買い付け
取得株数	200千株
取得価額	3.19億円

中期経営計画の目標値

■ 23/6期は開示した目標を超過

■ 好調な事業推移にあわせ、8月に24/6期の売上高目標値を上方修正

	21/6期 (実)	22/6期 (実)	23/6期 (実)	24/6期 (予)
売上高	144億円	161億円	181億円 (目標: 180億円)	195億円 (↑185億円)
営業利益	17.2億円	20.0億円	20.3億円 (目標: 19.0億円)	25.0億円
営業利益率	11.9%	12.4%	11.2% (目標: 10.6%)	12.8%
ROE	29.2%	28.6%	25.1%	最低20% 以上を維持
配当性向	30.8%	42.7% (記念配を実施)	37.9%	40%以上

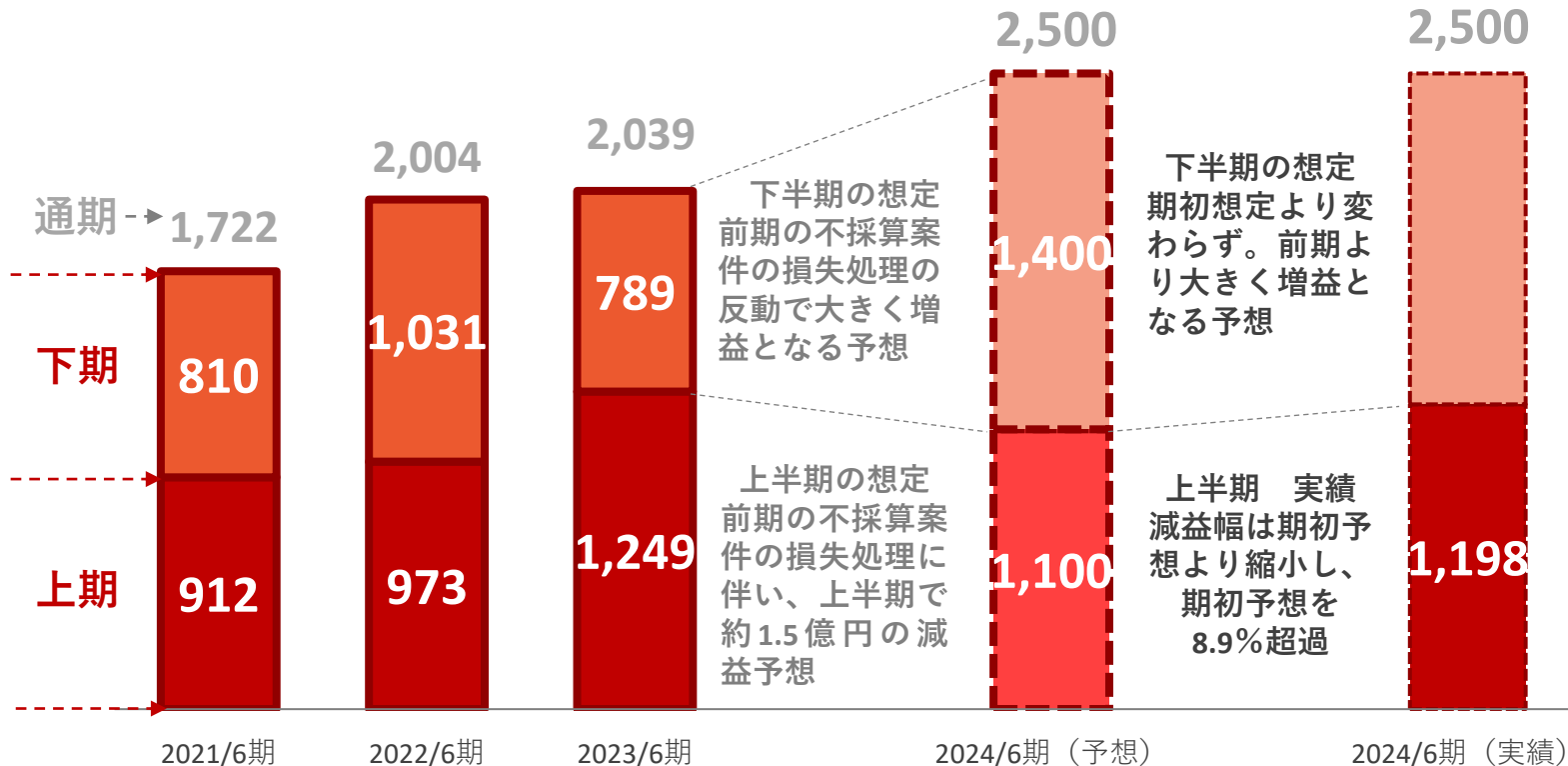
■ 一株当たり配当予想

一株当たり 年間配当額	24.0円 (普通配)	40.0円 (普通配32円、記念配8円)	36.0円 (普通配)	46.0円 (普通配)
----------------	----------------	-------------------------	----------------	----------------

2024年6月期 第2四半期決算状況（1）計画

- 今期は前期に発生した不採算案件の影響を考慮し下期偏重の計画としていたが、好調な事業がカバーし、上期は期初予想を超過。下期の大幅な増益予想も変わらず

上期・下期の営業利益推移



2024年6月期 第2四半期決算状況（2）実績

- 旺盛な需要に対応し、売上高は**過去最高を更新**。利益は主に不採算案件の影響による1Qでの減益分まで補填しきれなかったが2Qから増益基調に転じ、期初予想を上回る
- 前述の通り、次なる成長へ向け、M&A2件（システムインテグレーター及びソフトウェア販売会社）を発表

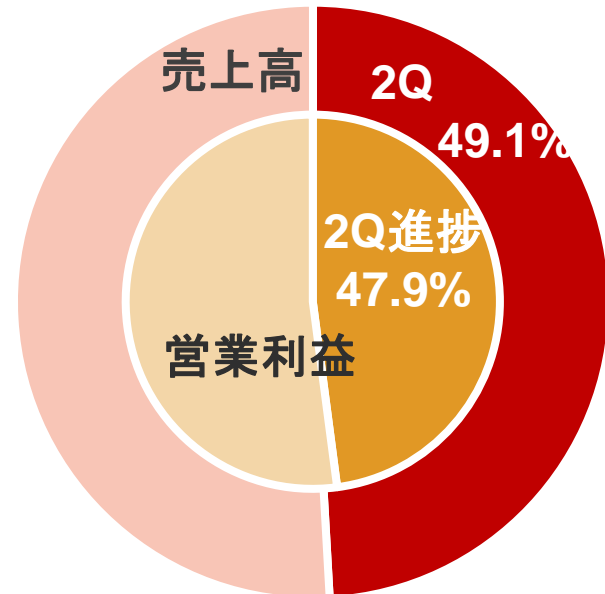
主要KPI

売上高 : **9,575**百万円 上期業績予想 (9,500百万)
(前年同期比+5.6%、上期予想比+0.8%)

営業利益 : **1,198**百万円 上期業績予想 (1,100百万)
(同-4.1%、同予想比+8.9%)

営業利益率 : **12.5%** 上期業績予想 (11.5%)
(同-1.3Point、同予想比+1.0Point)

通期予想進捗率



売上高(予) : 19,500百万円
営業利益(予) : 2,500百万円

ご清聴ありがとうございました



デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

- ・この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- ・Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。